



事務所：長野県伊那市西町 5016-2 電話 0265(76)5858 例会日：毎週火曜日 例会場：海老屋料理店 0265(72)2158
 会長：唐澤敏治 副会長：田中洋 幹事：市川満貞

<p>ロータリー： 変化をもたらす</p>	<p>2017-2018 国際ロータリーのテーマ ロータリー：変化をもたらす ROTARY: MAKING A DIFFERENCE</p> <p>2017-2018 RI会長 イアン H.S.ライズリー オーストラリア (ビクトリア州)</p>	
<p>第1414回例会 平成29年8月29日(火)</p>		

■ 点 鐘 12:30

■ ソング それでこそロータリー 平澤理ソングリーダー



■ 会長談話 唐澤敏治会長



今朝5時58分、北朝鮮が予告なしに異例の弾道ミサイルを発射しました。日本の上空を通過し、襟裳岬から1,180キロ先の太平洋に3分離され落下しました。アメリカ・韓国による合同練習が行われている最中に、北朝鮮が日本国を通過する弾道ミサイルを発射した事は私たち日本人にとってこれ以上の恐怖はありません。安倍首相、アメリカ・トランプ大統領との電話会談で圧力強化に日米共に立場は一致。100%ともにある。国連安保理に対し強く圧力強化を要請すると言っています。あれだけ理屈に合わない言いたい事を言っている北朝鮮に対し、国連安保理をはじめ日・米・韓・中国・ロシア等の大国がなぜ指をくわえて今まで見ていたのか不思議に思います。特に日本においては安倍政権になってから5年以上、拉致被害者の進展も全くありません。日本の将来を考えた時、思い切った戦略が必要になると思います。北朝鮮に遠慮はご無用です。

■ ニコニコボックス

- ◆唐澤敏治 本日はクラブフォーラム「会員増強・プログラム委員会」です。委員長中心に全員の皆さんで会員増強に頑張りましょう。
- ◆池田幸平 今月は会員増強月間です。本日クラブフォーラムを担当します。会員増強にご協力をお願いします。
- ◆井上修 久しぶりの出席ですみません。仕事に名を借りたアルコールとカラオケ三昧の日々でしたので、高潔な皆様とお会いすると心が洗われます。
- ◆田中洋 残暑お見舞い申し上げます。30周年の記念誌を現在一生懸命進めております。今日は会員の皆さんのプロフィールの原稿を依頼しましたので、よろしく願い致します。
- ◆熊谷健 先週はマレットゴルフと納涼例会、ご協力ありがとうございました。また、9月は10~11日と分水ロータリークラブとの親睦旅行がありますので宜しく願い致します。

■ 幹事報告 市川満貞幹事 幹事報告は別紙をご覧ください。



■ 委員会報告

・親睦旅行の案内

熊谷健親睦活動・友好委員長



9月10日（日）～11日（月）は分水ロータリークラブとの親睦旅行です。旅程表等をお配りしました。ご参加の皆様よろしくお願ひ致します。

・8月24日（木）国際奉仕委員会・青少年奉仕委員会・IAC顧問教師合同会議の報告 下井達典青少年奉仕委員長



先週24日夕刻に国際奉仕・青少年奉仕両委員会合同の委員会を開催しました。伊那西IAC顧問の木原先生と渋谷先生も参加しました。

参加者は唐澤会長、市川幹事。国際奉仕では矢野委員長、中川副委員長、伊澤委員、小川委員、鈴木委員の5名。青少年奉仕では小椋委員、原一馬委員、下井の3名で合計12名でした。

両委員会は留学生に関係する事業も多い事から今年も合同開催となりました。近隣の事業としては9月30日～10月1日の第15回伊那西IAC留学生交流会があり話題としました。

懇親第一の委員会でした。

・8月26日（土）米山奨学委員会地区セミナーの報告

清水吉治米山奨学会委員長



2017年8月26日 松本大学にて

・クラブ出席者 51名 出席者なしクラブ10クラブ（伊那中央RC 清水吉治 吉原弘明副委員長が参加）

・ガバナーおよびガバナー補佐と地区役員総勢18名

*地区事務局からの報告

2015～2016年度 寄付総額について

普通寄付	特別寄付	合計	平均寄付学
985万円	1,830万円	2,815万円	14,048円/一名

・次年度米山採用予定数

来年1月に採用予定の割り当て数は16名で（うち継続奨学生は6名）したがって新規採用生は10名となる。当地区内における留学生の内有資格者は205名となります。

*講演 米山記念奨学会事務局長 岩邊俊久氏による「米山記念奨学事業の成果と課題」と題して講演を聴くことが出来ました。

その後質問の時間がありましたが、各クラブ委員からの声はなく、地区役員がフォローして幾つかの問題提起がなされた。質問が出なかったのは、講演が今流行のプロジェクトのみで行われ、矢継ぎ早で多岐にわたる内容であったため、論点の整理が間に合わなかったかと思う。

- ・見返りを求めない奨学金制度である
- ・なぜ外国人だけが対象になるのか
- ・日本のロータリーだけが外国人留学生奨学金（米山奨学金）組織を持っている
- ・中国、韓国の留学生が多いが、この状況は経済の大局観から考えれば仕方がない
- ・なぜ反日感情や運動が高まる国の留学生に援助するのかと聞かれることもあるが、「なぜって、この子達（留学生）は皆の子供だろう」には考えさせられた
- ・今年米山奨学会設立50周年である
- ・現在までの奨学生総数は19,808人である
- ・本年度は793名であり内613名が新規奨学生 継続学生が180名である
- ・10月の米山月間において認識や議論を深めたいと思います

・8月26日（土）ロータリー財団地区セミナーの報告

小向誠一ロータリー財団委員長



去る8月26日、田中副会長と共に松本大学で行われた地区財団セミナー勉強会に出席してきました。今年度の目標と計画という事で始めにロータリー財団について理解を深める事についての話でした。

1917年アトランタで開催された国際大会で、アーチクランフ氏に依って「全世界規模で慈善・教育・その他の社会的奉仕分野でより良い事をする為に基金をつくろう」と提案した事に依り、此の基金はロータリー財団と名付けられた歴史的背景から始まり、「ロータリー財団の使命はロータリアンが健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済する事を通じて世界理解親善・平和を達成できる事です。」また、平和と紛争予防/紛争解決・疾病予防と治療・水と衛生・母子の健康・基本的教育と識字率の向上・経済と地域社会の発展、以上6項目

1. ロータリー財団に関する理解を深めていただく
2. 地区目標：年次基金寄付は1人平均150ドル
3. 地区目標：ポリオプラスへ1人30ドル達成
4. 地区目標：ロータリー平和フェローへ1人500円以上
5. ロータリーカードの加入を推進する

続いて補助金事業についての日程

1. 7月30日承認された補助金の管理と事業報告の説明会（松本大学に於いて）
2. 8月26日ロータリー財団地区セミナー勉強会（松本大学に於いて）

次からは次期財団関係者

3. 12月17日（2018年）補助金申請資格の為の地区補助金管理セミナー（松本大学に於いて）
4. 地区補助金申請（2018年1月～3月）
5. MOUの提出〆切（2018年1月31日）

[1] 補助金小委員会

- ・ロータリー財団に関するセミナーを開催し、補助金マニュアルを改訂する。
- ・補助金申請の審査をしフォローをする。
- ・補助金対象クラブの選考会を開催する。
- ・地区から申請クラブへの補助金の配賦をする。

[2] 財団資金管理会計小委員会

- ・地区補助金報告書について授与と受諾の条件、MOUに沿って適正に行われているか審査をする。

[3] 資金推進小委員会

- ・年次プログラム基金寄付への推進
- ・RHF、MPHF、MD、PHS会員の増員
- ・ロータリーカードの普及をめざす。
- ・オリコゴールドカード年会費1万円、内3千円が財団に寄付。利用額の0.3%が財団に寄付。
- ・オリコスタンダードカードは使用額の0.3%が財団に寄付。
- ・オリコビジネスカードは年会費3千円の内1,500円が財団に寄付。又使用料の0.5%が財団に寄付。
- ・ダイナースカードで新しくクラブカードが作成できる。クラブの支出決済をしながら寄付ができる。

[4] ポリオプラス小委員会

- ・ポリオ撲滅についてより一層の啓発活動をする。
- ・ポリオ基金寄付の地区目標30ドル以上会員達成を目指す。

[5] グローバル補助金委員会

- ・他国RCとの共同事業である事。
- ・長期にわたるプロジェクトである事。
- ・3万ドル以上のプロジェクトである事。
- ・6つの重点分野を支援する。
- ・補助金の支出後も成果が持続するプロジェクトである事。

・創立30周年記念誌委員会より

田中洋記念誌・広報委員長



伊那中央ロータリークラブ30周年記念誌・会員プロフィールページの原稿をお願い致します。9月末までくらいにご用意ください。ご協力をよろしくお願い致します。

■ 出席報告

会員数47名 出席免除会員7名 長欠会員2名 本日出席者26名 事前メイク11名
出席率86.05% 前回出席率 修正なし

■ クラブフォーラム

「会員増強・プログラム委員会」 池田幸平会員増強・プログラム委員長

会員増強委員会の活動と会員増強のお願い



会 員 増 強 委 員 会

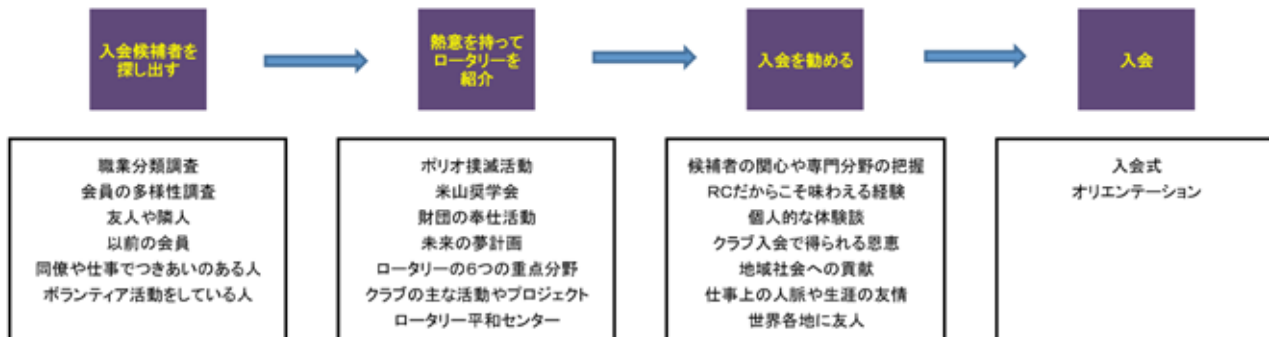
- 役割 クラブ維持のための会員増強・維持活動と会員の積極的参加の促進
- 目標 会員純増各グループ10名の達成を目指す

会員増強はロータリー全体の最重要課題

会員増強の目標達成に向けて会員が一丸となれば、クラブの存続と発展の基礎が築かれるでしょう
魅力的で楽しいクラブづくりが必要、まずはクラブを客観的に見つめ、強みと改善点は何かを考えて
見ましょう

会員が積極的に参加しているクラブほど、斬新で実り多い奉仕活動を数多く実施し活気が生まれ、活
動が充実し会員であり続けようという気持ちも強くなる

会員増強のプロセス



関ガバナーの地区方針抜粋

現在のロータリーが置かれている状況は、決して楽観的なものではないと思います

ロータリーはさらにパワーアップしていくことが望まれています

会員増強は永遠のテーマ、自分たちの歩んでいく先を見据えた奉仕の内容やそれにふさわしい人材を増強することが必要になってくるでしょう

2016年の規定審議会で「柔難性」と言われる方向で大きな改革が決定されました

今年はロータリーの改革元年とでもいうべき年にあたると思います

ロータリーの曲がり角を実感してください。自分自身を、自分のクラブを見つめなおしてください
ロータリークラブの縮小や解散をイメージしたくなかったら、今から将来を考えておくことが必要です

将来に向けた戦略を考えてください。そして、それを実行することが求められています

■ 点 鐘

13:30

次回例会
9月5日(火) 点鐘 12:30 場所 海老屋料理店